

第64回 「目標達成」のためには「計画」が必要？

前にも似たようなことを書きましたが年度の変わり目に当たってまた書きます。

皆様の法人・事業所でも新年度の「計画」策定を進めておられる頃かと思いますが、ホンネとしては、理事会に出すとか、役所に出すために仕方なく「計画」を作っているのが実態ではないでしょうか(-_-)。

しかし例えば「工賃向上」といった前向きの「目標」を達成するためには、「計画」みたいなものはほぼ不可欠かと考えます。

個人に例えますと、「難関資格を取るために試験を受ける」「〇〇デビューするためにオーディションを受ける」などと本気で考えた人が千人いるとして、3年後、「やるべきことはやって来た」と思いながら勝負に挑める人はたぶん百人もいないでしょう。そして残り9百人に足りなかったのは、具体的な「計画」だった可能性が大了。

受験校や養成所に通っている時間は別にして、それ以外で日々努力するのは自分の意思だけです。しかし私たちは毎日やるべきことがありますし、毎日誘惑にさらされます。3年後の勝負のための努力なんて後回しになって当然です。

そこで大事なものは、3年後を見越して毎月、毎週、毎日、やるべきことをリストアップして、できたかできなかったかをモニタリングし、できなかったら反省して仕切りなおすための具体的な「計画」です。

さらに法人・事業所であれば、個人の努力だけでどうこうなるものではありません。立場も考え方も違う人たちが力を合わせなければ、戦力的な目標を達成することはできません。このとき必要になるのも、いつまでに何をやるかが明文化された「計画」類です。

こうして、「計画」といったものを、「仕方ないから作るもの」から「目標を達成するためのツール」と見直していただければ幸いです(=^・^=)。

その他、「計画策定」に関する考え方について、『「工賃向上計画」策定・実現ノウハウ集 第二部 実現へのノウハウ (令和3年～5年度対応版)』をご覧ください♪。

<https://www.shougai-syuurou.jp/plan.html>